

どうぐ せいかつ
C展示室学習シート むかしの道具と生活 名前 _____

～^{とみえ}富江さんの家で、写真の道具を見て①「名前」をしらべ、②「使い方」を^{かんが}考えることで
むかしの人々の^{ちえ}知恵について^{かんが}考えてみましょう～

1.



①名前 とタライ

②使い方

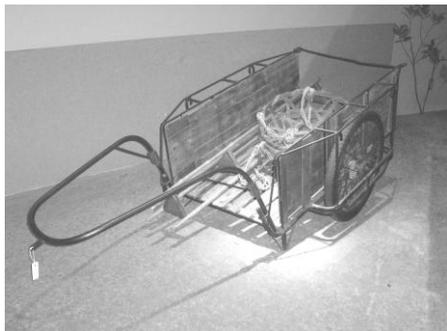
2.



①名前

②使い方

3.



①名前

②使い方

4.



①名前

②使い方

5.



①名前

②使い方

6.



①名前

②使い方

7.



①名前

②使い方

8.



①名前

②使い方

○はじめに

- ・このシートは、教育の目的で使うときのみ、輪転機等による増し刷りが可能です。ただし、著作権は琵琶湖博物館にありますので、一部を転載あるいは切り貼りする場合は、◎琵琶湖博物館と記してください。
- ・どのシートも1時間近くの時間がかかりますので、どれか1種類に絞った利用をおすすめします。
- ・たくさんの児童・生徒が、全員同じ順で設問を解いていくと混雑が予想されるので、グループごとにとりかかる問題を変えることをおすすめします。20名程度の人数であれば、引率者が児童・生徒を誘導しながら、設問ごとに解説を加えることも可能です。

1. ①せんたく板 とタライ

②洗濯物を強くこすりつけて、もみ洗いしてよごれを落としました。

- ・家の外で、カワヤの水をくんでタライに水を張り、洗たく板に布をこすりつけて汚れを落としました。布が傷まないよう注意しながら、汚れたところだけをしっかりと洗います。汚れがひどいときは、石鹼や灰部屋の灰を洗剤として使いました。おむつなどを洗った水は、小便だめに流して、川を汚さないように気をつけていました。

2. ①漬け物おけ

②大根、かぶ、日野菜等を並べて詰め、重しをのせて漬け物を作りました。

3. ①リアカー

②荷物を運ぶときに使い、荷台にバランスよく荷物をのせ、前の引き手の中に人が入って引っ張って運びました。重い物を運ぶときには、後ろから押す人や引く人の人数を増やしました。

4. ①ひなた水

②お風呂に入れるためなど、水を温かくしておいた方がいいとき、入れ物に水を入れ、日の当たるところに並べておいて燃料を節約しました。

5. ①カミクド

②今はガスや電気で行っている、ご飯を炊く、お湯を沸かす、煮物をするなどの煮炊きにわらや割り木を燃やして行いました。

6. ①（お）かま

②カミクド等にかけて下から火を燃やし、ご飯を炊くことを中心に使われました。ご飯を炊くことの他にも、大量のお湯を沸かすときなどにも使いました。

7. ①火ばち

②火を燃やしたおき(薪を燃やして炎のあがらなくなった状態の落ち着いた火)や炭、豆炭などを入れて、冬の暖房に使いました。ごとくを入れて、ヤカンをのせて湯を沸かしたり、アミを置いてお餅を焼いたりすることもありました。

8. ①ミシン

②足ではずみ車を回して、一定の速度で針を上下させ縫い物をしました。

- ・現在では、ミシンといえば、電動ミシンがほとんどです。しかし、当時は、このような足踏み式のミシンを使っていました。明治時代の後半から家庭用のミシンが輸入されはじめ、やがて国産品が生産されて、各家庭の必需品として使われるようになりました。